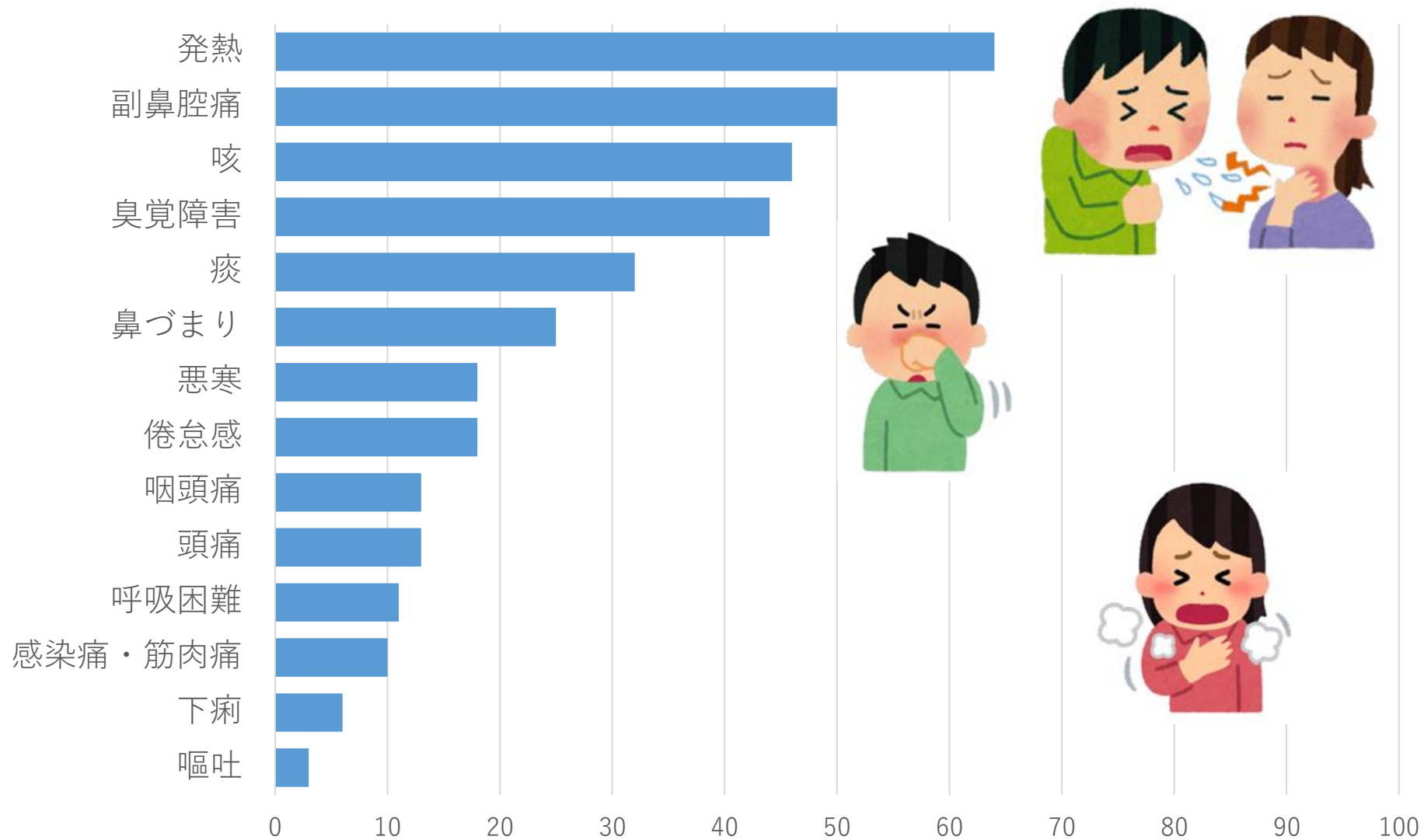


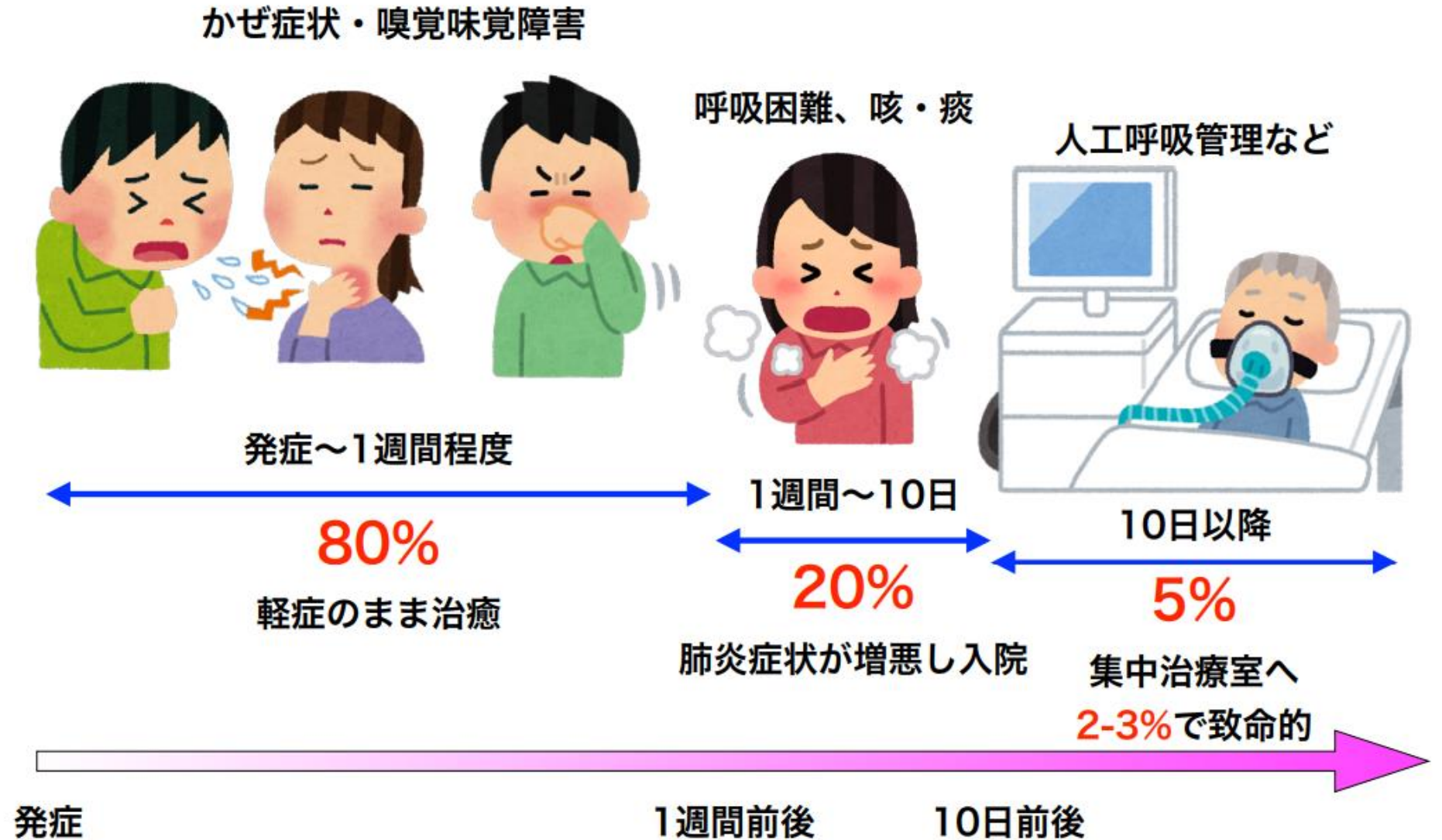
1.感染症の基本的知識

新型コロナウイルス感染症の特徴

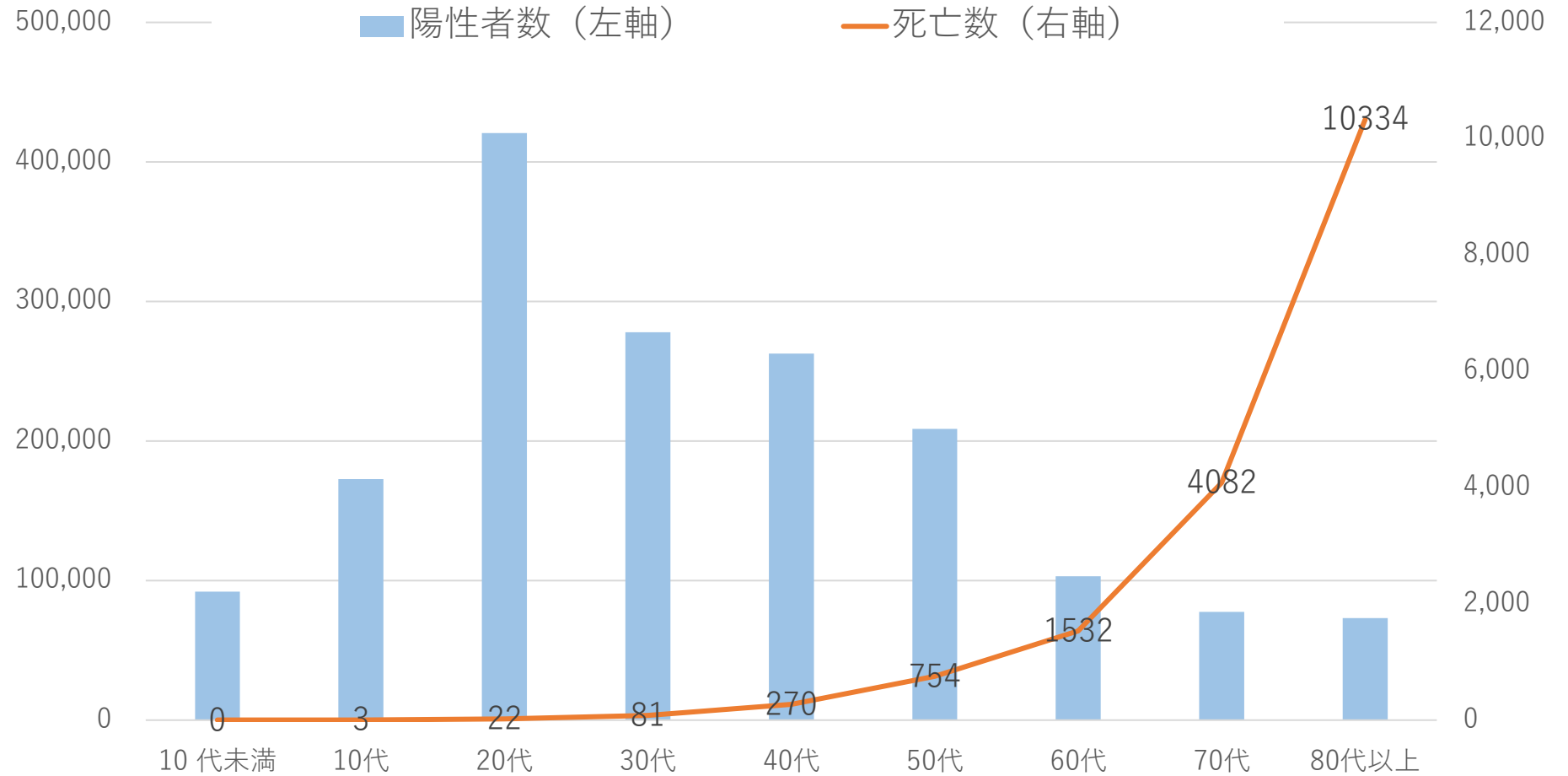
症状



発症後の経過



年代別陽性者数と死亡数



2021年10月12日時点



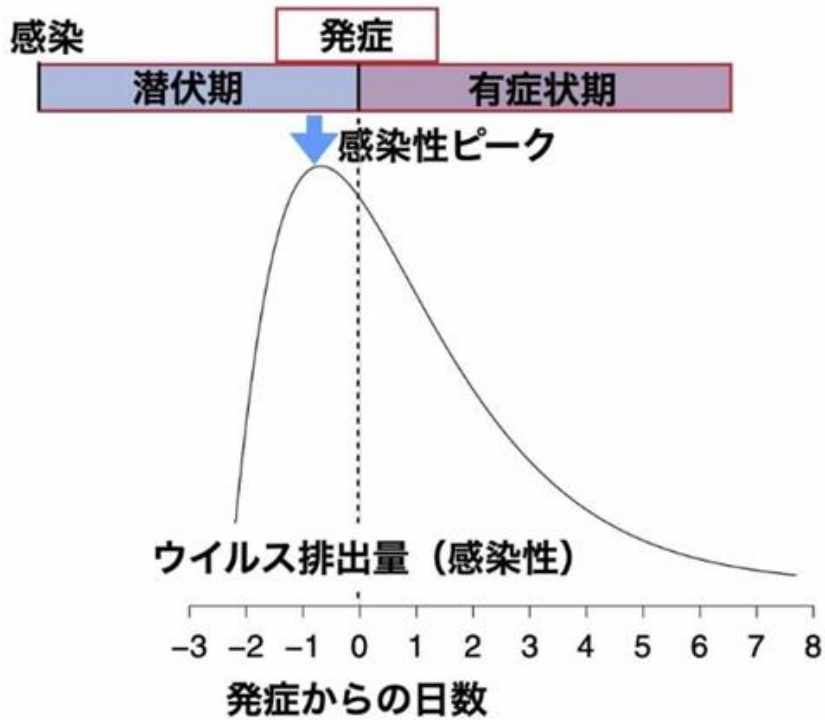
65歳以上の高齢者 悪性腫瘍 慢性腎不全
慢性閉塞性肺疾患 2型糖尿病 高血圧
脂質異常 肥満（BMI 30以上） 喫煙 等

→ **ワクチン接種により重症化リスクは低下する**

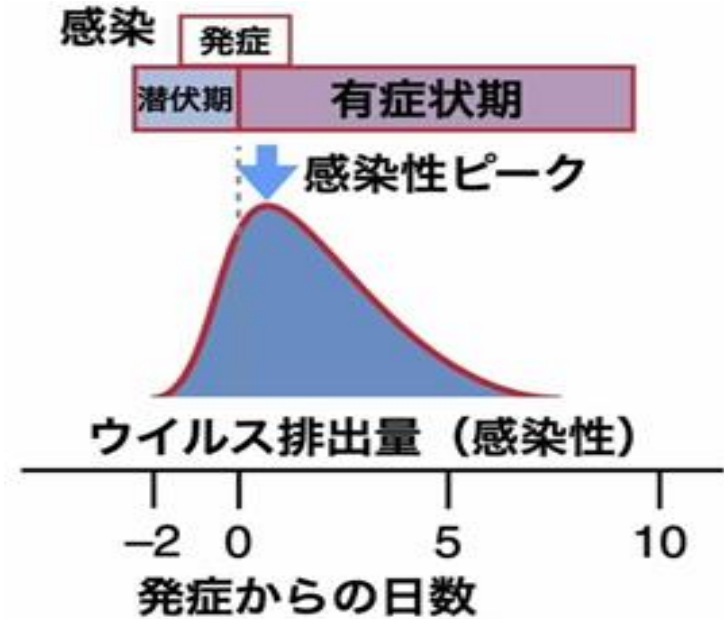
重症化のリスク因子

ウイルスの排泄期間

新型コロナウイルス感染症



季節性インフルエンザ



感染経路

エアロゾル感染 ≠ ~~空気感染~~



エアロゾルはいつ発生するのか？

エアロゾル (5 μ m以下) 発生手技



N95マスク・換気必須

気道吸引 気管内挿管・抜管 心肺蘇生

喀痰誘発 用手換気 気管支鏡

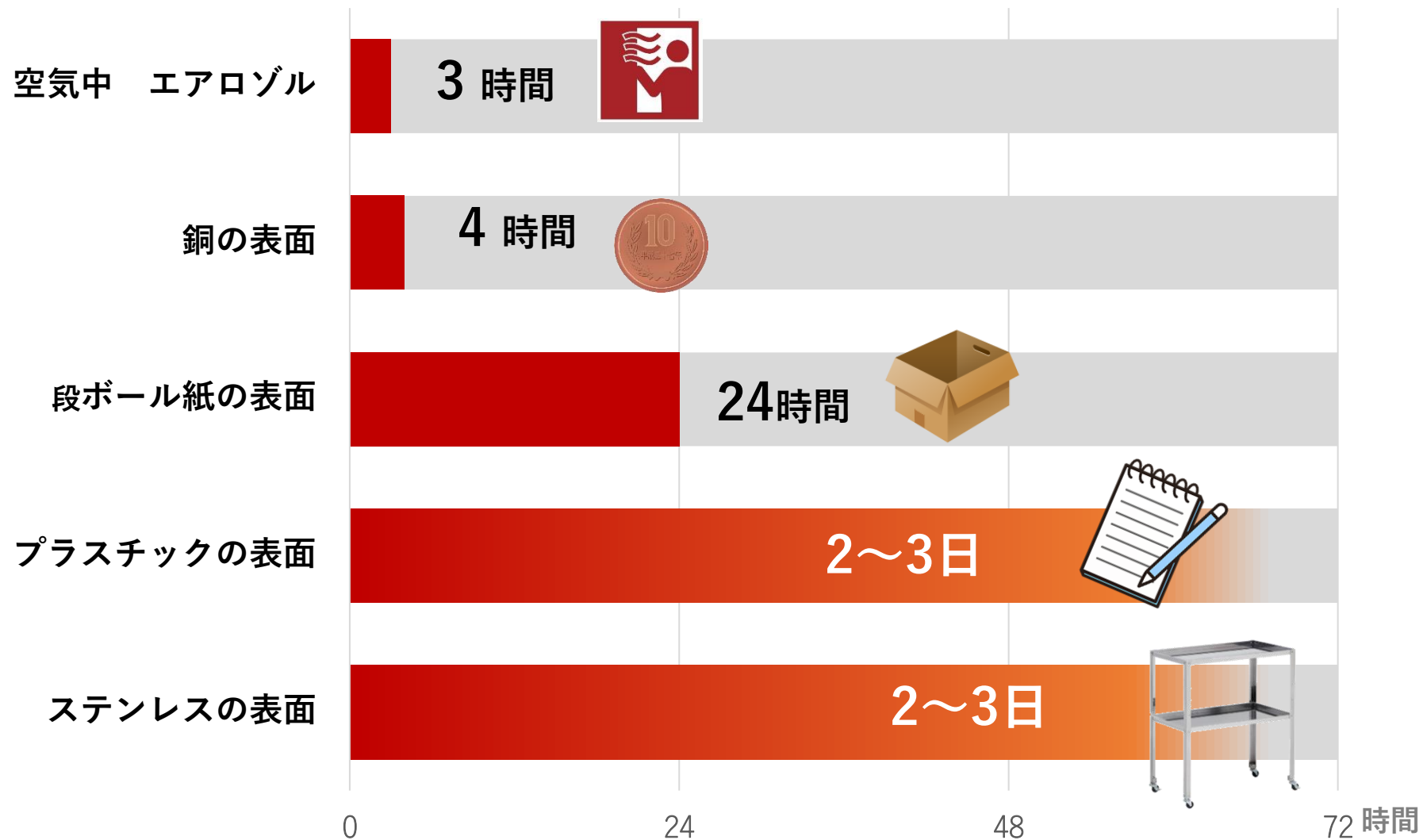
非侵襲的換気療法 **ネブライザー療法**



※鼻咽頭拭い液採取は、サージカルマスクで可

出典：新型コロナウイルス感染症に対する感染管理（改訂2020年6月2日）国立感染症研究所
国立国際医療研究センター 国際感染症センター

ウイルスの生存期間



出典：新型コロナウイルス感染症に対する感染管理（改訂2020年6月2日）国立感染症研究所
国立国際医療研究センター 国際感染症センター

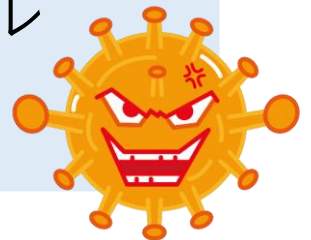
新型コロナウイルス 感染症の概要

潜伏期間：1～14日（多くは5～6日）

発症前に、知らないうちに他者に感染させる

症状は、主に発熱、咳などの呼吸器症状、倦怠感、
臭覚障害などの多様である

感染経路は、飛沫が主、接触 + エアロゾル



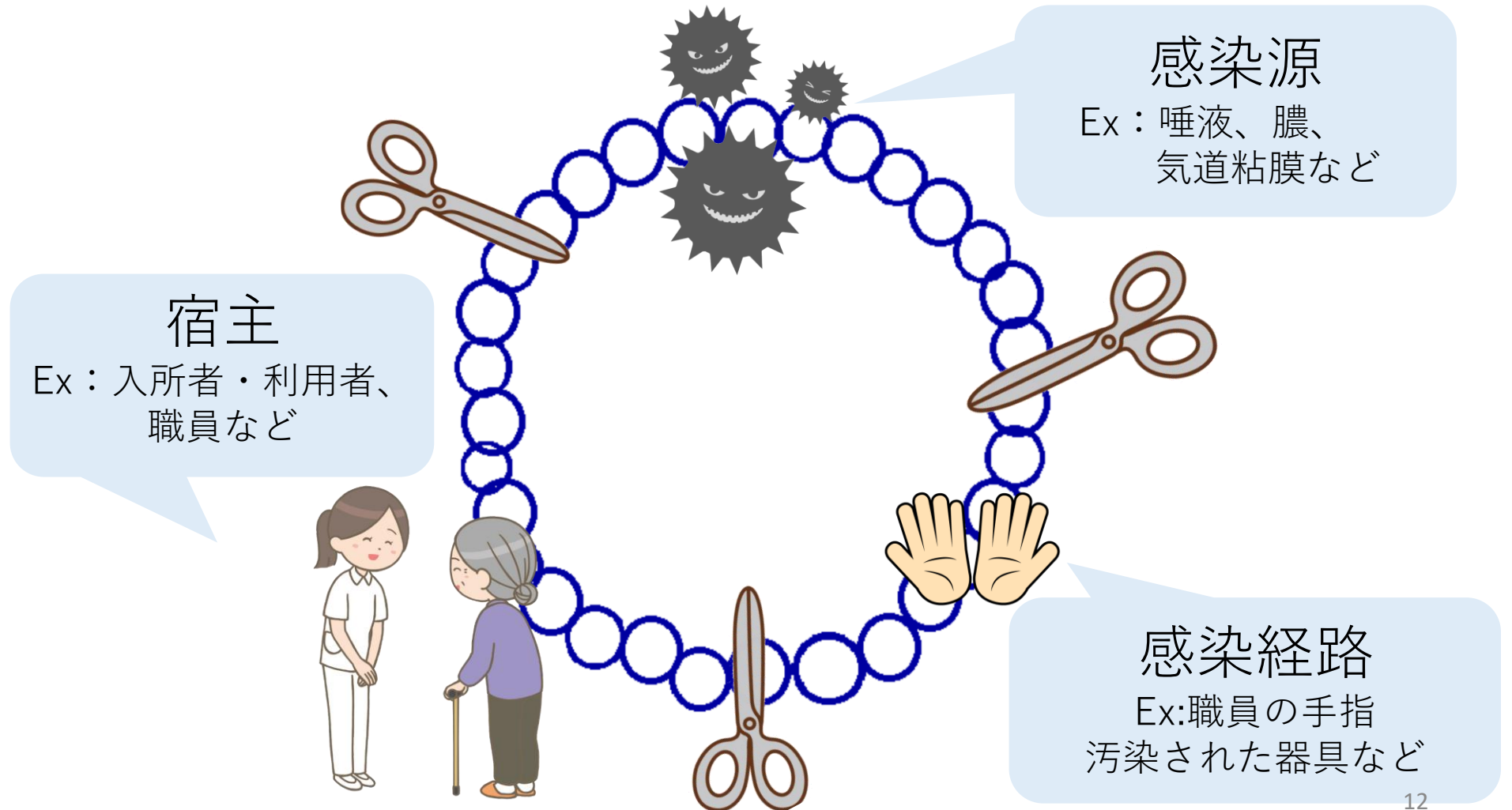
どうやって、 新型コロナウイルス感染を 防ぐのか？

知らないうちにうつる、うつす可能性

→ **まずは、標準予防策の徹底**

感染成立の輪

どこかで遮断すると、感染は成立しない！



全ての入所者・利用者に対して行う普遍的予防策

標準予防策



オプションとなる予防策

空気感染
予防策

飛沫感染
予防策

接触感染
予防策

標準予防策と
経路別予防策

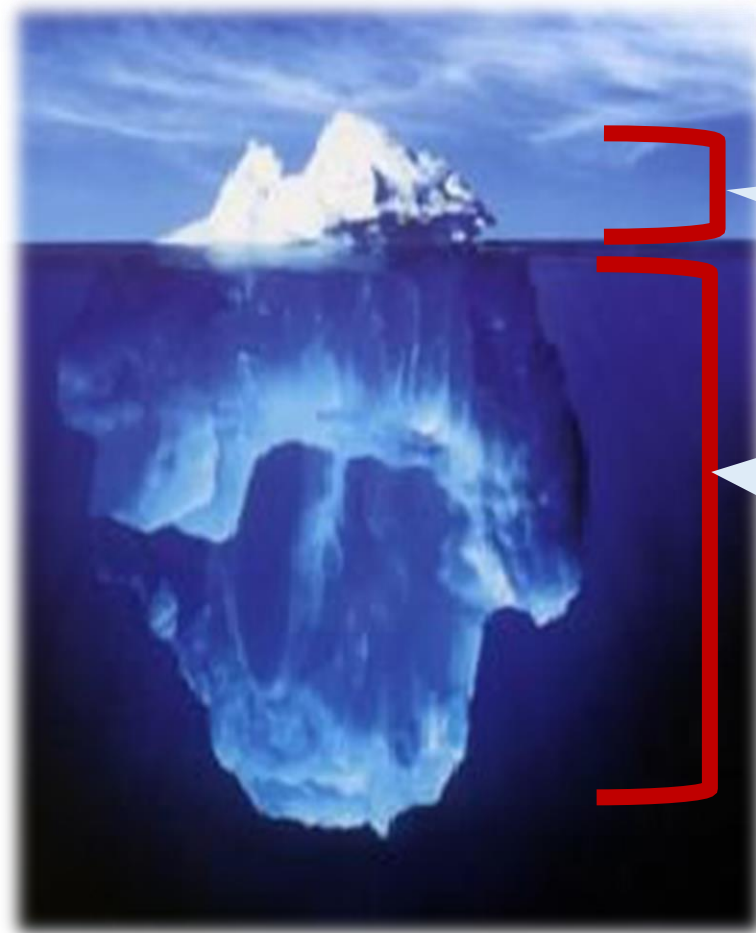
目的：病原体・感染経路の遮断
職員・入所者・利用者を守る

- 疾患の種類・特殊性に関係なく
- 全ての入所者・利用者に対して
- 標準的におこなわなければならない
- 感染予防策



すべてのスタッフが
行わなければならない対策！

『感染症陽性の入所者・利用者は 氷山の一角に過ぎない』



検査により感染症
『陽性』と判断される

診断されない症例とは？

- ・未検査
- ・ウィンドウピリオド
- ・未知の感染症
- ・偽陰性

標準予防策
(スタンダードプリコーション)

- ① 手指衛生
- ② 個人防護具
- ③ 血液媒介病原体曝露防止
- ④ 患者・利用者配置・移動
- ⑤ 環境管理
- ⑥ ケア器具及び機器の取り扱い
- ⑦ リネンの取り扱い
- ⑧ 呼吸器衛生/咳エチケット
- ⑨ 安全な注射手技
- ⑩ 特別な腰椎穿刺における感染制御手技

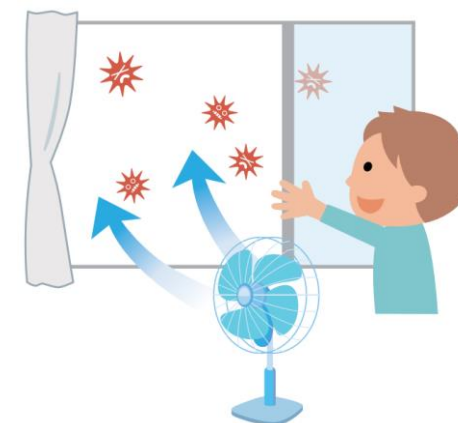
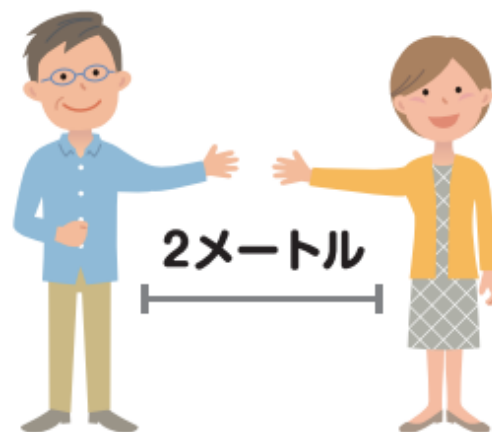
新型コロナウイルス感染症の感染対策

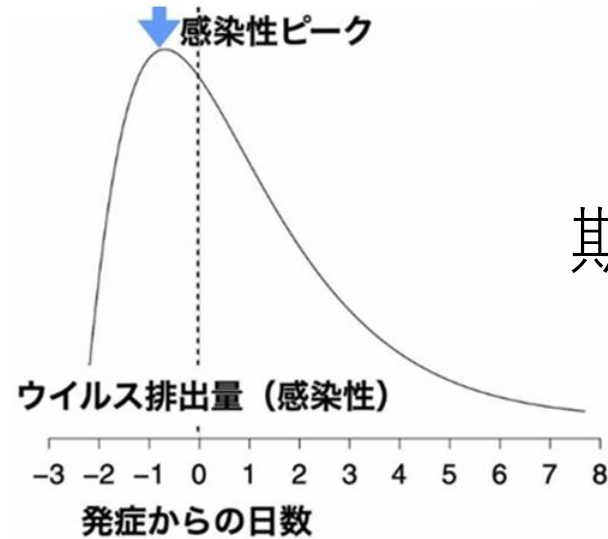
- 施設内では必ずマスク着用

サージカルマスクの推奨
ウレタン等では性能 ↓



- 2メートルの距離が取れば、マスクを外せる





期間：発症2日前（有症者）

検体採取の2日前（無症状者）

- ①同居・長時間（車内）の接触があった者
- ②必要な感染防護具なしに患者を診察・看護等した者
- ③体液に直接接触した可能性のある者
- ④必要な感染予防策なしに、**1メートル**・**15分以上**の接触

コロナウイルスの施設内への侵入を食い止める！！



100%食い止めることは不可能



※ダメージを最小限にする
クラスター発生をさせない！！

